

# 連携推進地区活動報告

推進テーマ

～どの子どもも安心して生活し、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

仏向地区 仏向小学校  
向原幼稚園

# テーマ設定の理由

どの子も安心して生活し、主体的・対話的で深い学びの  
実現をめざして

◇幼保小の連携を進めることで、小学校に入ってくる子どもたちの安心を保障でき、その安心が自信・自己発揮につながることで、主体性や対話の必要性が生まれ、深い学びが充実するのではないかと考えたため設定に至った。

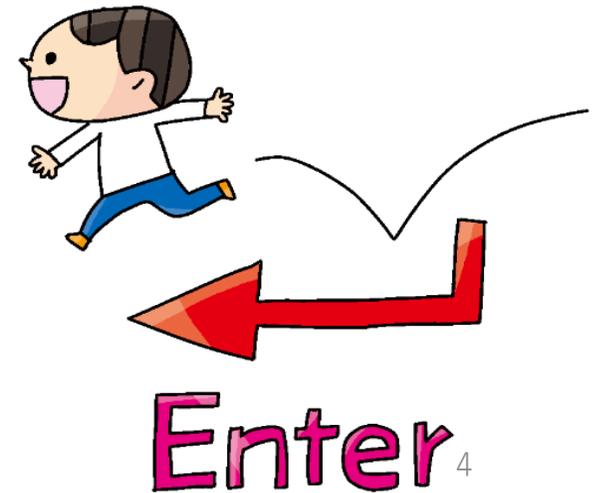
# 連携推進3年間の歩み

## ◇3年間の事業内容

	研修	担当者 交流	園児・児童 交流
1年目 (R5)	<b>R6 3月</b> ⇒スタートカリキュラムの報告 ⇒「夢中になっている姿」の共有		<ul style="list-style-type: none"><li>・折り紙を用いた交流</li><li>・他教科での関わり</li><li>・運動会練習時応援</li><li>・小学校に招いて、遊ぶ会</li></ul>
2年目 (R6)	<b>8月28日</b> ⇒園と小での活動の相互性 <b>2月28日</b> ⇒年間のふり返り 次年度交流の見通しをもつ		<ul style="list-style-type: none"><li>・生活科を通じた交流</li><li>・運動会応援</li><li>・小学校に招いて、遊ぶ会</li></ul>
3年目 (R7)	<b>6月27日</b> 架け橋プログラムについて 育てたい子どもの姿の共有 <b>2月26日 予定</b> ⇒幼保小の繋がりを深める	4月 年間の活動を計画 ※随時連絡を取り合い 活動を調整	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活科を通じた交流</li><li>・運動会応援</li><li>・小学校に招いて、遊ぶ会</li></ul>

# 推進内容について

- 連携研修に関して
- 研修を生かしてスタートカリキュラム実施
- 園からの自由参観（2日間）
- 継続した双方向のやりとり、交流



# 今年度の重点課題

## ◇今年度力を入れたこと

## ➡スタートカリキュラムの明確化、架け橋のカリキュラム作成等

	第1週	第2週	第3週	第4週
国語	どうぞよろしく おはなし たのしいな	あいいうえおであそぼう(ひらがな・あいいうえおさま)		
算数	なかまづくりとかず		10までのかず	
生活	はるのほてな はるをたのしもう!	だいすき ぶっこうしよう! ~がっこうのはてな?をかいつつ!~		さいてほしいな わたしのはな
音楽	みんなてうたお (校歌、市歌、さんば,...)	おんがくにあわせて からだをうごかそう! (すたあとをうた、えびがくす、こんちゅうたいきょけん、ばななくんたいそう、)		
図工	こんなものみつけたよ	すきなものをなに?	どうぞよろしく!(にがおえ)	ねんどであそぼう(すきなものをなにあに、ごちそうパーティー)
体育	ゆうぐであそぼう!(固定施設を使った運動遊び、体づくり運動)			
道徳	ようこそ いちねんせい	あいさつ ことばづかい	じゅぎょうがはじまるよ	しまりをまもること じぶんでできること
行事 特別活動	入学式 よろしくね (なかまづくりゲーム)	防災訓練 異音測定等	1年生を迎える会 きゅうしゅくがはじまるよ	きょうしつをきれいにしよう!

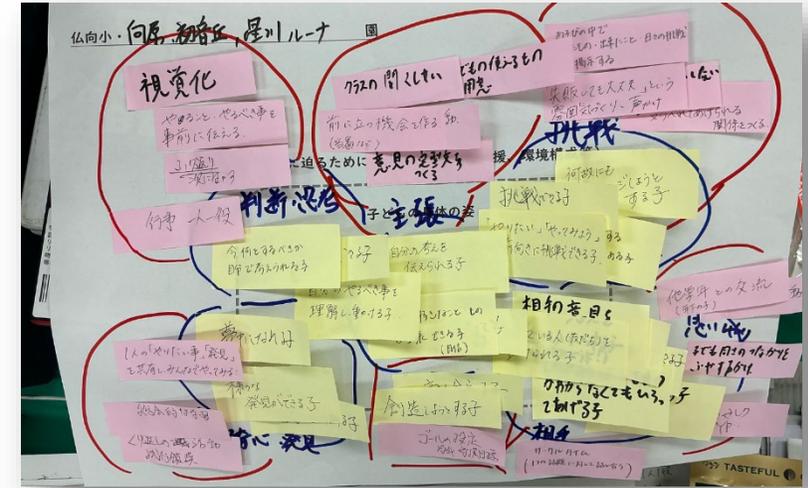
内容の観点	架け橋期のカリキュラム(就学前施設)													架け橋期のカリキュラム(小学校)												
	就学前施設 アスク知母保育園													小学校 藤沢市立広向小学校												
	5歳児													小学校1年生												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①期待すること	【園の目標すこも像】													【小学校の目標すこも像】												
②遊びや学びのプロセス														①期待する子ども像												
③園で展開される活動/ 小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成														②遊びや学びのプロセス												
④指導上の配慮事項 (1)0のまじりの 関わり	健康な心と体 自立心 協調性 通関心・規範意識 の芽生え 社会生活との関 わり 思考力の芽生え 食生活との関わり 食等尊重 直式や図形、線画 や文字などへの 関心・感覚 言葉による伝え合 い 豊かな感性と表 現													③園で展開される 活動/ 小学校の生活科を 中心とした各教科 等の単元構成 ○一人一人が安心感をも ち、新しい人間関係が築 けるようになる活動 →幼児期の体験、活動を 取り入れる、行う。 ・知っている? ・したことある? ○自覚化した学び、資質・能 力の育成 ○生活科を中心とした各教科・ 関連的な指導による単元構成 ○日常生活につながる学習活動 ○自覚化した学び、資質・能 力の育成												
⑤子どもの交流														④教師の関わり												
⑥家庭や地域との連携														⑤環境構成												
⑦子どもの交流														⑥子どもの交流												
⑧家庭や地域との連携														⑦家庭や地域との交流												

# 連携推進事業の実際

## ◇幼保小のつながりを深める連携研修の実施

➡育てたいこども観の共有

➡それぞれの教育の場での手立てが分かる



# 連携推進事業の実際

## ◇スタートカリキュラムの実施

職員間での共通認識・協力



4月8日 入学式

### 日案①

#### 4月8日(月)入学式

子どもと話す時間は15分程、でもその15分の印象がとても大切です。

「明日も学校楽しみだな!」と思ってもらえるように、明るくにごやかに過ごしましょう!

①トイレの確認⇒同時進行で個人写真 入学式前に、机の名前と顔が映るように撮影してもらう。

②呼名⇒名前を呼ばれたら大きな声で「はい」と返事をする約束の確認

③先生の名前の確認⇒名前作文のようにしておく覚えやすい

い…犬 し…しか い…いるか

「犬のい」「しかのし」「いるかのい」

※先生の呼び方を確認するのもよい。園での経験を聞いてみると名前でも呼んでもらえるかも…

④担任の先生の名前を覚える宿題

⑤「さようなら」をして下校⇒玄関まで送る。

# 連携推進事業の実際

## ◇スタートカリキュラムの実施

4月9日 1日目

### 4月9日(火) 1日目

意識するのは、幼保の学びを引き継ぐことです。幼保では、「最上級生として頼りになる存在」として、小学校に入学しています。「小学校ではこう!」も時には必要ですが、**基本姿勢として、「幼稚園ではどうだった?」「保育園ではどうだった?」**と子どもに問いかけ、自主性を促すことを大切にしてください。☒「教える」◎「一緒に考える」  
「〇〇ってどうするの?」紙に書くことも忘れずに! ●これからのおくわくタイムで?を解決するときに使える、「どうしたらいいかな?」と言って子どもに判断させる。後日、みんなで確認。→できるならすぐでもよい

- ☒ 登校したら、一旦荷物をおいて、自由遊び→ぜんぜんやらなかったら座って挨拶をする。
- ☒ 学ぶ 「昨日勉強した漢字の仕方で〜」と学ぶ
- ☒ 入学式の日写真を見ていたらテレビに映すのもあり

#### <おくわくタイム>

- ◎ 読み聞かせ
  - ◎ 手遊びなど → 幼稚園・保育園でやったことある遊びをやることで安心UP。
- (丸かきタイム)
- ◎ トイレの使い方の確認 → タンクにのらない、便座にのらない、トイレットペーパーの使い方
  - ◎ 水の入れ方の確認 → ハンカチでふく、蛇口の飲み方、蛇口を丁寧に、蛇口のねじは注意

#### <くわくタイム>

- ◎ 「学校の?」を解決する
  - ☒ お道具箱はどんなふうに使った方がいいかな → 置いておくお部屋、持ち帰りのお部屋
  - ☒ ランドセルはどんなふうに使った方がいいかな → ぼうさいずきんはどうしたらいいかな (靴はどんなふうに入れたらいいかな)
- ◎ 準備・片づけOK
- ☒ ランドセルの中からみんなで連絡帳、封筒を出す。連絡帳の中身を見る。書いてあったら担任に出す。  
※入れ物を用意しておく ※準備がないかチェック
- ☒ 個人情報保護封筒の中身は名簿でしっかりと整理を
- ☒ 連絡帳をしよう 「終わったら見せてね〜」「終わったら手は洗って〜」
- ☒ ランドセルの中身整理になった。「次は、防災備中と手さげどうするの?」

#### <丸かきタイム>

- ◎ 帰りのしなくもしてみよう! 学校コース・下校方法の確認
- ◎ 帰りの確認。「どうやって帰った方がいいかな?」※園でのことと家でのこと(園と学校での差別化)
- ☒ 帰りの準備 → 方面別下校
- ☒ 持ち帰りのお部屋はぜんぶランドセルの中へ

「どうしたらいいかな?」

幼稚園でやっているようなことは子どもに覚えさせない。

**意識するのは、幼保の学びを引き継ぐことです。幼保では、「最上級生として頼りになる存在」として、小学校に入学しています。「小学校ではこう!」も時には必要ですが、**基本姿勢として、「幼稚園ではどうだった?」「保育園ではどうだった?」**と子どもに問いかけ、**自主性を促すことを大切にしてください。**  
**「教える」×「一緒に考える」◎****

**一日の流れ、指導の仕方・関わり方の共有化**

# 連携推進事業の実際

## ◇スタートカリキュラムの実施

園での経験が  
生かせるような環境

4月9日 1日目

- よてい
1. けんこうちえく
  2. よみきかせ
  3. といれ
  4. じゃんけん
  5. せりせいとん
  6. がえりのしたく



きょうもがんばろう😊

とってもかっこよかったです。

きょうのみんな

おはようばんにます。

4

がつ

9

にち

# 連携推進事業の実際

## ◇スタートカリキュラムの実施



4月9日 1日目

園では登園後、  
自由遊び



継続



安心感

# 連携推進事業の実際

◇双方向性のある交流

➡4月に年間の活動を計画

➡出会い



また あそびたい!!



わたしたちもあそびたい!



こんど いっしょにあそぼう!



# 連携推進事業の実際

◇双方向性のある交流

➡4月に年間の活動を計画

➡出合い



**【教師】一緒に遊みましょう!×**



**【子ども】遊びたい!遊んでもいい?**

# 連携推進事業の実際

◇双方向性のある交流

➡4月に年間の活動を計画

➡区の事業より頂いた球根の活用



# 連携推進事業の実際

◇双方向性のある交流

➡4月に年間の活動を計画

➡継続した交流



# 連携推進事業の実際

◇双方向性のある交流

➡4月に年間の活動を計画

➡今後の活動



# 成果と課題

	連携研修	スタートカリキュラム	交流に関して
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども観の共有</li><li>・顔の見得る関係の構築</li><li>・連続性の重要性</li><li>・主体性協働性の構築</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・安心につながる子どもたちの増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・先を見通し計画的に行うことができたと言える。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・時間の確保が難しい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の理解、周知、次年度以降の継続</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・園との予定調整</li><li>・顔を合わせた交流の設定</li></ul>